

平成28年度一般会計予算 21億円で編成

平成28年度当初予算の概要をお知らせします。ここ数年厳しい財政状況が続く中、引き続き経常経費の削減に努めるとともに、誰もが住みやすい村づくりに取り組むため予算編成を行い、本年度の一般会計予算は総額21億円となりました（前年度比2億9000万円増額）。

本年度予算は、主に児童福祉や保健事業・生活環境の充実、観光振興、特に和紙の里ハブ化構想事業に重点を置いた予算となっています。また、地方交付税措置のある臨時財政対策債等の活用を行うものの、財源不足を補うため、財政調整基金等から1億8000万円の繰り入れを行いました。

歳入

歳入は、税金などの「自主財源」と国や県に頼った「依存財源」の大きく2つに分けられます。「自主財源」が多いほど、村独自のサービス、将来に向けて積立を行うなど行政の自主性と安定性が確保されます。

東秩父村は、「自主財源」が全体の23・3%で、依然として財源の多くを「依存財源」が占めている状況です。

一般会計予算における歳入は、昨年度と比較して、個人住民税や固定資産税などの村税は750万円増額し2億3949万円となり、また、村財政の骨格である地方交付税は600万円の増額となり1300万円を見込みました（歳入総額の48・2%）。

また、財政不足を補うため過

歳出

疎対策事業債を2億8900万円借入れることとしました。

歳出は、議会費、衛生費、農林水産費等が減額となったものの、総務費、商工費、消防費等で増額となりました。

性質別歳出は「義務的経費」と「投資的経費」、「その他の経費」に分けることができます。「義務的経費」は人件費、扶助費、公債費で構成され、支出が義務づけられている経費で、人件費は前年度と比較して1553万円の減額となりました。

投資的経費は、道路や公共施設の建設など行政水準の向上にかかる経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されています。今年度の投資的経費は5億516万円で、前年度と比較して2億9229万円増額しました。

また、財政不足を補うため過

主要事業

平成28年度の主要事業は、事業区分の再編が行われ、新規事業として「和紙の里整備」などが加わりました。

和紙の里整備事業として、バスハブ化構想の実現に伴う、和紙の里への農産物販売所の移転など施設増改築をはじめ駐車場の整備、既存施設の整備を行い、村外からの観光客誘致を図り、活気あふれる村づくりにつなげます。

また、バスハブ化と関連して、昨年度から取り組んでいる公共交通の確保事業では、和紙の里バスステーションの整備を行い、住民の利便性の向上はもちろん、村外からの観光客も利用しやすい交通網の確保に取り組みます。

特別会計

村では、一般会計とは別に、特定の事業を行う場合に、そこから発生する特定の収入を支出に充てて独立してやりくりする

特別会計があります。国民健康保険特別会計や簡易水道事業特別会計など5つの特別会計の予算総額は11億4190万円で、前年度と比較して2580万円の増額となりました。

会計別予算額

(単位：千円、%)

会計名	平成28年度	平成27年度	増減額	伸び率	
一般会計	2,100,000	1,810,000	290,000	16.0	
特別会計	国民健康保険	500,000	495,000	5,000	1.0
	介護保険	472,500	452,700	19,800	4.4
	合併処理浄化槽事業	49,000	47,000	2,000	4.3
	後期高齢者医療	34,000	34,700	△700	△2.0
	簡易水道事業	86,400	86,700	△300	△0.3
計	1,141,900	1,116,100	25,800	2.3	
予算総額	3,241,900	2,926,100	315,800	10.79	